

「令和5年度 香芝市まちづくり提案活動支援事業」に採択された市民団体の皆さまと、香芝市のまちづくりに  
ついて、意見を交換いたしました。

～「香芝市社会福祉法人連絡会」の活動内容～

香芝市内に拠点を持つ13の社会福祉法人が参画し、「誰もが安心して暮らせる地域共生社会」づくりのため、各法人の専門性、人材、経験を持ち寄り、地域公益活動、人材の育成、情報の共有を進めている。今年度からこども食堂を実施。



～テーマ～ 香芝市社会福祉法人連絡会の活動について(内容の一部をご紹介します)

[◆:団体からのコメント / ○:市長からのコメント]

◆ これまで実施してきたフードドライブ事業に絡めて、こどもの居場所づくりとして、こども食堂「カッシー食堂」をスタートさせました。8月26日に第1回目を開催したところ、夏休みということもあり約150名もの方々に参加いただきました。第2回目を10月28日に開催する予定で、今後もSDGs活動の一環として今年度は計4回の開催を予定しております。

○ 第1回目の「カッシー食堂」が早くも大賑わいであったとのことと、とても嬉しく思います。昨今はさまざまな要因により、子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所が失われつつあります。そんな中、「カッシー食堂」は温かい食事を通じてさまざまな人々との繋がりや居場所をつくりながら、SDGsへの理解も深めることができるたいへん素敵な場所で、地域社会において非常に重要な役割を担っておられるものと存じております。ぜひ今後とも、子どもたちが地域コミュニティの中でいきいきと育つことができる環境づくりにご協力くださいますよう、引き続きよろしくお願い致します。

◆ 社会福祉法人の経営状況について、全国において特別養護老人ホームの約4割が赤字に陥っております。さらに、物価高騰の影響を受けるなか、補助金による支援もありますが、財政的になかなか厳しいのが現状です。社会福祉法人が市民・地域住民の生活を守り、福祉サービスを継続して提供できるよう、物価高騰対策としての社会福祉法人への支援の拡充等、今後の展望についてお聞かせください。

○ 社会福祉法人が地域のなかで果たしている役割は非常に大きなものがございます。支援の方法として、補助金等の財政支援だけでなく、経営改善の取組に対する支援や補助等も有効策ではないかと思われましたので、知恵を絞りながら今後検討してまいりたいと思います。社会福祉法人連絡会様は、地域課題の解決に取り組んでいただいております。大変尊い存在であると感じております。地域に根差した活動を持続可能なものなるよう思案し、協力できればと考えております。本日は貴重なお時間を頂き、誠にありがとうございました。

